

第1回 最上小国川鮎釣り甲子園大会

高校生が小国川に集う



8月5日、小国川で第1回鮎釣り甲子園大会が行われました。この大会は、県と舟形町、最上町、小国川漁協などが実行委員会を立ち上げ初めて開催したもので、山形県が誇る鮎釣りのメッカである小国川に、県内外から高校生60名が集い、鮎の友釣りで釣果を競いました。

定員60名に対し、100名を超える応募が殺到。町内からも5名が参加し、山科瀬那さん（富田第2）が選手宣誓をしました。参加した高校生たちは川の石に足を滑らせながらも、地元の鮎釣り愛好家に釣り方のコツを教してもらいながら、次々と鮎を釣り上げていました。また、競技の後には、小国川の鮎の塩焼きや芋煮など舟形の味覚をみんなで堪能して、大いに盛り上がりました。

結果は、17匹を釣り上げた東北学院榴ヶ岡高3年菅井祐樹さんが優勝。2位には新庄東高3年荒木美瑞樹さんの12匹、3位は日大山形高2年安部文翔さんの11匹でした。おめでとうございます。

▼問い合わせ／
最上総合支庁総務課連携支援室
☎（29）1240

広報 ふながた 8

もくじ ～Contents～

- p3…… ふなびく
- p4…… 真夜中の豪雨…あなたはその時
「8月5日～6日の豪雨」による災害
- p8…… 人口減少だからこそ
- p10… ふるさと納税で舟形を元気に！
- p12… 成人式・100歳元気プロジェクト
- p14… まちのわだい
- p16… ふれあい広場
 - ・卓越技能者表彰
 - ・「舟形町東京友の会 舟形まつり」に参加してみませんか
- p18… 青いシグナル、ぽっぽ舎通信
- p19… 舟恋、カメラアングル、戸籍の窓
- p20… ふながた若鮎まつり

Cover Person ～表紙の紹介～



8月4日、女神の丘（西堀地内）で第7回縄文炎祭が開催されました。当日は、町内外から約200名が訪れ、土器や女神像の野焼き、縄文風パン焼きや勾玉づくりなどを楽しみました。祭の最後には打ち上げ花火が夜空を彩り、大いににぎわいました。

町長コラム

がんばろう舟形

被災された町民の皆様へ、心からお見舞い申し上げます。

舟形町観測史上最大級の豪雨が、8月5日から6日にかけて降りました。このため、全町にわたり甚大な被害がありました。被害額は16日現在で約7億8,000万円です。しかし、被害箇所が全町にわたり、また、被害箇所が膨大なことから、被害の全容がまだつかめていない状況です。役場庁舎も地下の電気設備が水没したことから、発電機の仮設電源で対応しているため、庁舎3階と保健センターは電気が使えません。こんな状況でも、職員一丸となって、復旧に向けてがんばっています。

道路、河川、住宅、宅地、水路、農地の復旧、そして支援に全力を挙げて取り組みます。町民の皆さんも、一緒にがんばりましょう。

森 富広

